

平成 28 年 12 月 20 日
商 工 中 金

商工中金初の P F I 事業に対するシンジケートローン組成 医療・介護・図書館が一体となった都市型地域包括ケア施設を整備する 公益財団法人河野臨牀医学研究所を金融面からサポート！

商工中金は、シンジケートローンなどの取組みを通じて、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の活性化に貢献しています。

商工中金（大森支店）は、公益財団法人河野臨牀医学研究所（本社：東京都品川区、代表者：横山 孝氏）に対し、医療・介護・図書館が一体となった複合施設を整備するための P F I 事業の実施に必要な資金総額 60 億円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、**商工中金初の P F I 事業に対する組成**で、**商工中金**がアレンジャーを務め、**東京都民銀行**等が参加しています。

公益財団法人河野臨牀医学研究所は、品川区北品川において 60 余年にわたり、医学研究所を中心に急性期病院、回復期・療養型病院、健診センターを運営し、また 24 時間 365 日救急患者を受け入れるなど、地域の救急医療も支えています。

今回、同研究所は、本シンジケートローンにより調達した資金を活用して、品川区立御殿山小学校の旧校舎跡地を含む区有地に、医療・介護・図書館が一体となった複合施設を整備し、文化教育機能の充実と高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる都市型地域包括ケアのモデル施設を開設します（完成時期：平成 30 年 3 月末予定）。

商工中金は、本事業を地域医療の発展に貢献する優れた取組みと高く評価し、民間金融機関と協調してシンジケートローンを組成しました。

商工中金は、こうしたシンジケートローンへの取組み等を通じて、民間金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献していきます。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	60 億円
アレンジャー兼エージェント	商工中金
参加金融機関	東京都民銀行 他
契約締結日	平成 28 年 9 月 30 日

【公益財団法人河野臨牀医学研究所の概要】

所在地	東京都品川区北品川 1-28-15	従業員数	320 名（平成 28 年 11 月現在）
代表者	横山 孝	設立	昭和 27 年 9 月

1. PFI (Private Finance Initiative : プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) とは
公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法
です。医療・福祉施設といった公益的施設や道路、鉄道、空港、水道等の公共施設、庁舎や宿舍等の
公用施設、その他情報通信施設や観光施設等を対象としています。

PFIの導入効果としては、民間事業者の経営上のノウハウや技術的能力を活用することができ、
コストの削減と同時に質の高い公共施設の整備やサービスの向上を図ることに繋がることや、国や地
方公共団体等により運営されてきた事業を民間事業者に委ねることから、民間事業者にとって新たな
収益機会がもたらされます。

2. 本PFI事業について

品川区立御殿山小学校の旧校舎跡地を含む区有地に「(仮称) 品
川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館」の複合施設を整
備します。同施設は、品川区が区有地の有効活用を図るため、介護
老人保健施設、区立図書館とともに自由提案事業の複合施設の建設、
運営事業者を公募した結果、河野臨牀医学研究所が事業者選定を受
けて整備が決定したものです。

【完成イメージ図】



河野臨牀医学研究所は、同施設の建設と病院・介護老人保健施設の運営を担い、図書館部分は
区が区分所有します。また同施設は、急性期病院と連携し、回復期リハビリ病院、介護老人保健
施設、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問看護ステーションの機能を有し、病院
から在宅までのシームレスなリハビリサービスを提供します。また、大規模災害時に区民を守る
ための拠点施設や、介護職教育施設としての機能が期待されるとともに、地域、小学校、区立図
書館と連携した今までにない都市型地域包括ケアのモデル施設として期待されています。

3. 本件スキーム図

